

設計資産再構築・最適化サービス

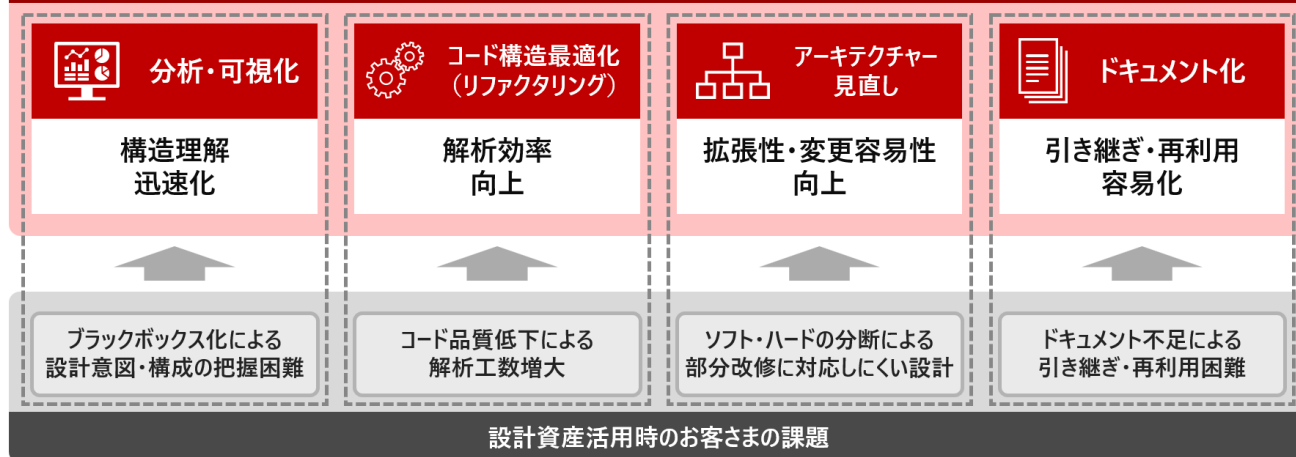
～設計資産を分析・可視化し、AI活用に適した開発基盤の実現を支援～

設計資産の再構築により、継続開発を支えます

産業・自動車・
医療機器分野など

システム開発におけるソフトウェアやハードウェアなどの設計資産の再構築・最適化による高度化を支援し、AI活用に適した開発基盤へのモダナイゼーションを加速

「設計資産再構築・最適化サービス」による課題解決



- ✓ 部品EOLやFPGA・CPU更改、OS更新に伴う設計課題に対応し、設計資産を再構築します。
- ✓ 設計資産を整理・文書化し、将来の開発に活用できる基盤として再定義します。

複雑化した設計資産を「読み解き」、AI活用にも適した開発基盤を実現します

■設計資産を「読み解く」ところから始めます

ブラックボックス化した設計資産を可視化し、AI分析を活用して再構築方針を策定。

■ソフトウェア・ハードウェア・FPGAを一体で最適化します

構造全体を踏まえた設計判断により、将来の保守・拡張しやすい設計を実現。

■ドキュメントまで含めて設計資産として整備します

再構築後の構造や設計意図を仕様書・設計書として整備し、継続開発や拡張を支える開発基盤を構築。

サービス内容

#	サービスメニュー	サービス内容
1	ソフトウェア基盤更新	・言語・OS・フレームワーク・DBを更新 ・構造見直しを伴うモダナイゼーションを実施 ・組み込み・業務システム双方に対応
2	アーキテクチャー見直し	・責務分離の観点で構造を整理 ・構造整合性を確保し、設計観点で最適化 ・システム全体を踏まえた構造見直しを実施
3	リファクタリング	・既存コードの構造・依存関係を解析 ・コーディング規約に基づき構造を整理 ・内部構造を最適化（可読性・保守性の向上） ・共通化、例外処理、ログを強化
4	ハードウェア・FPGA連携最適化 当社「部品EOL向けリメイクサービス」、 「FPGA向けリターゲットングサービス」と連携	・ハードウェア依存や制約を調査・整理 ・リアルタイム性やリソース制約を踏まえた設計見直し ・ハードウェア・FPGAを含めた構造最適化
5	ドキュメント整備 当社「ドキュメンテーション支援サービス」と 組み合わせ可能	・仕様書・設計書を再整備 ・構造・変更点をドキュメント化 ・再利用・引き継ぎを見据えたドキュメント化 ・英語化によりグローバル開発に対応

サービスフロー

分析	構造整理・改善	仕上げ・資産化
・既存コード・設計資産の構造を把握 ・AIを活用した一次分析による課題抽出	・設計意図を踏まえた構造整理 ・エンジニアによる設計判断に基づき構造を修正	・仕様書・設計書の整備 ・AIによるレビュー・多言語対応で効率化 ・引き継ぎ・再利用可能な設計資産として整理

本サービスの適用例（ユースケース）

【ケース1】継続開発を支える設計資産の再構築

複雑化したソフトウェア資産に対し、言語移行（マイグレーション）や構造改善（モダナイゼーション）、AIを活用したコード解析により、外部リソース活用にも対応可能な開発資産へ再構築。

【ケース2】品質と保守性を高める設計資産の再構築

アーキテクチャーとの乖離や構造の複雑化に対し、MVVM*1に基づく構造の見直しとAIを活用したコード解析を実施。品質・保守性・拡張性を高め、機能追加や将来対応が容易な開発基盤を実現。

*1：ソフトウェアの構造を役割ごとに整理する設計手法の一つで、データ（Model）、画面（View）、処理や制御（View Model）に分けて構成

※記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。 ※ちらしに記載の仕様、外観は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。

※印刷物につき、実際の製品・画像の色調と異なる場合があります。

※本製品の開発・製造は、原則として日本国内での使用を想定して実施しています。

本製品を輸出する際は、輸出者の責任において、輸出関連法令などを遵守し、必要な手続きを行ってください。

海外の法令および規則への適合については当社はなんらの保証を行うものではありません。なお、ご不明な場合は、当社営業担当または下記の二次元コードからお問い合わせください。

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

〒220-6122

神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3クイーンズタワーB 25F

お問い合わせ

